**伊勢　演奏中の地震に備え　初の訓練コンサート**

【伊勢】コンサート中の地震発生を想定した「避難訓練コンサート」が十一日、伊勢市岩渕の市観光文化会館であった。皇學館高校吹奏楽部が演奏する中、震度五強の地震が起きたと想定し、観客と演奏者約五百人が安全な場所に避難した。

　同会館指定管理者「スコルチャ三重」（松平博道館長）と市教育委員会の主催。南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、実践的な訓練を通して職員や利用者が災害時の対応を体験する目的で初めて実施した。

　コンサート序盤に緊急地震速報が流れると、演奏者や観客がその場で身をかがめ、スタッフの誘導でホールを後にした。視覚障害のある観客にはスタッフらが付き添い、「段差があります」などと説明。六分十秒で全員が中庭に避難した。訓練から十五分後、コンサートを再開した。

　市消防本部の西端昭浩予防課長(58)は「パニックもなく落ち着いて避難できていた」と講評。松平館長(67)は「ホールは千二百人収容できる。観客をどこに避難させるかが今後の課題。次はもう少し観客の人数を増やして訓練したい」と話していた。